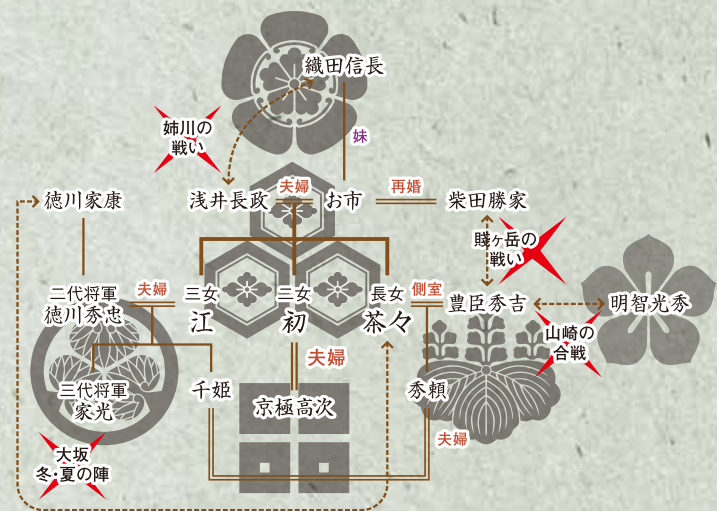


浅井氏

浅井氏は、小谷城西麓の丁野(ようの)を本拠とした士豪で北近江の守護大名京極氏に仕えていました。大永3年(1523)浅井亮政ら家臣が京極氏の跡目争いに乗り京極氏を追放。やがて主導権を握った浅井氏が支配するようになり「北近江」という交通の要所をおさえました。三代・浅井長政は織田信長の妹・お市を妻にむかえ信長と同盟を結びましたが、信長が浅井氏と同盟関係にあった朝倉氏を攻めたことから信長との関係に亀裂が生じ、刃を交えることとなり居城である小谷城にて最期を迎えました。浅井氏は、亮政・久政・長政の三代約50年で滅びてしまいましたが、長政とお市の間に生まれた浅井三姉妹(茶々・初・江)はそれぞれ波瀾万丈な人生をおくり、歴史の舞台に影響を与えました。

小谷城とは

小谷城(おだにじょう)は標高495mの小谷山に築城された中世山城です。中世五大山城にも数えられ、浅井氏三代(亮政・久政・長政)の居城でした。1573年に織田信長との戦いに敗れ落城しましたが、現在でも土塁や曲輪、石垣が残り国の史跡に指定されています。



人物相関図

浅井三姉妹とは、浅井長政と織田信長の妹・市との間に生まれた3人の娘、茶々、初、江のことです。それぞれ豊臣秀吉・京極高次・徳川秀忠の妻(正室・側室)となり、その後、天下をめぐる豊臣家と徳川家の天下の覇権争いに深く関わりました。



小谷城の戦い

元亀元年(1570)の姉川の合戦にて織田信長に敗れた浅井長政は、小谷城に籠城し信長軍と対峙しましたが周辺の支城は落とされ小谷城は孤立することになりました。長政の要望を受け朝倉義景が小谷城の北方に布陣する一方で信長は虎御前山に城を築き布陣を整えました。形勢不利と見た朝倉軍は越前に撤退、そこを信長軍に強襲され越前にて朝倉氏は滅亡しました。その後小谷城へ戻った信長軍は秀吉が小丸を攻め、長政の父・久政が自害。そして本丸への攻撃がはじまりました。長政は正室お市と娘の三姉妹を信長のもとへ送り、激闘を繰り広げましたが天正元年(1573)9月1日赤尾屋敷内にて自害しました。



車	電車
吹田 I.C. 37km	河毛 16分
京都東 I.C. 72.5km	米原 30分
名神 80km	新幹線 2時間
米原 I.C. 18km	新幹線 30分
小谷城 S.I.C. 30km	新幹線 32分
大垣 21分	新幹線 50分
至名古屋 東京	

河毛駅ではレンタサイクルを行っています
詳しくはお問い合わせください→TEL.0749-78-2280

北びわこの楽しい観光情報はWebで!
<http://kitabiwako.jp/>

北びわこ観光 検索



滋賀・びわ湖

戦国史跡

小谷城跡

中世五大山城に
数えられる
難攻不落の城



史跡紹介



城郭主要部への入口であり検問所があった場所。城への出入りを厳重にチェックしていた。



小谷城攻めの際、信長が陣を張った虎御前山を眼下に見ることができ、合戦時の雰囲気を感じることができる。



三方向を高い土塁で囲まれ、名前の通り馬屋があったかは不明だが中央には井戸があった。



小谷城随一のパノラマが広がり、巨大な小谷城址碑や浅井氏家臣団の供養塔がある。



桜馬場跡と大広間跡との間に位置し、両側には巨石を構え、今は跡のみだが、当時の大きさに圧倒される。



別名千畳敷とも呼ばれる小谷城最大の曲輪跡。礎石の跡が今もなお残っている。



大広間の奥にあり、天守など城の中心となる建物があったとされる場所。



家臣である赤尾氏の屋敷跡。小谷城の戦いの際に浅井長政が自刃した場所と伝わる。



日吉山王権現が祀られていたところでの名がついた。大石垣と呼ばれる石垣が現存する。

登城ルート


小谷城麓から中腹(番所跡付近)までの約1.6kmは林道が整備され車の通行が可能ですが、道幅が狭いため、通行の際はご注意ください。

- 番所跡～本丸跡…約400m(約20分)
- 本丸跡～山王丸跡…約400m(約30分)
- 山王丸跡～大嶽跡…約1000m(約60分)
- 大嶽跡～清水谷～小谷城戦国歴史資料館…約1500m(約80分)



小谷城をもっと楽しむための用語解説


- 曲輪(くるわ) 土塁や石垣または堀などで区画分けをした場所のこと。
- 出丸跡 城下一帯や街道を監視していた場所
- 大堀切跡 本丸跡と中丸との間にある深さ約10メートル、幅約15メートルの巨大な堀切跡。本丸を境にして上部と下部とを隔てる役目があった。
- 大嶽城跡(おおづくじょうあと) 小谷山最高峰(495m)に位置し、浅井亮政の築城当時には本丸があったと推測される。
- 清水谷(きよみずだに) 小谷山の西尾根と東尾根との谷にあたり家臣団の屋敷があった。



小谷城戦国歴史資料館 ☎0749-78-2320

小谷城の出土品をはじめ浅井氏や城について詳しく展示しています。スタンプや御城印はコチラ

- 開館時間: 9:00～17:00(最終入館16:30)
- 入館料: 高校生以上300円、小中学生150円
- 休館日: 毎週火曜日(火曜日が祝祭日の場合は水曜日)、年末年始




山登りにおける注意

履物は靴(滑りにくい靴底)をお履きください。山には売店、トイレはありません。徒歩で登られる場合、追手進入口又は、出丸入口をご利用ください。



望筈峠からの眺望



大嶽城跡 495m

月所丸跡

六坊跡

大野木屋敷跡

三田村屋敷跡

9 山王丸跡

大石垣

京極丸跡

刀洗池

中丸跡

中丸虎口

大堀切跡

7 本丸跡

6 大広間跡

8 赤尾屋敷跡

御局屋敷跡

井筒跡

帯曲輪

御茶屋跡

観音堂跡

徳昌寺跡

4 桜馬場跡

馬洗池

3 御馬屋跡

2 虎御前山展望所

1 番所跡

金吾丸

山城屋敷跡

遠藤屋敷跡

清水道

神明社跡

磯野丹波屋敷跡

望筈峠

真柄峠

追手道

車道

小谷寺

小谷神社

追手道入口

堀跡

清水神社

出丸入口

戦国ガイドステーション(三代の里)

至小谷城 SIC

郡上南

コシニ

マップイラスト/水田デザイン

周辺広域MAP

小谷城からひと足伸ばして



小谷城戦国歴史資料館
浅井氏や城について映像やジオラマなどで紹介しています。100名城スタンプや御城印はコチラです!
☎0749-78-2320

五先賢の館
戦国武将「片桐且元」など地域の賢人たちを紹介しています。小谷城から持ち出したと伝わる観音様も安置されています。
☎0749-74-0560

近江孤蓬庵
小堀遠州ゆかりの寺院。庭園は自然の地形を活かした趣ある設計で、本堂から眺めるとまるで額縁を切り取ったような紅葉が広がります。
☎0749-74-2116

浅井歴史民俗資料館
浅井氏に関する資料や小谷城模型などの展示や古くから盛んであった養蚕や鍛冶を紹介。また江戸後期の民家を移築し見学もでき、歴史や文化、産業の進化を実感できます。
☎0749-74-0101

道の駅浅井三姉妹の郷
地元農産物からお土産を取りそろえ、昼食も楽しめます。
☎0749-74-1261

中島城
小谷城の支城であり、西の守りを担ったが信長軍に攻められ落城しました。

虎御前山
小谷城の戦いの際には織田信長が砦を築き布陣しました。

実宰院
実宰院は浅井長政の姉である阿久姫が昌安見久尼と称して出家した庵。小谷城落城の際、三姉妹とお市の方は城を脱出し、実宰院で匿われたという伝承が残ります。

赤尾屋敷跡

徳源院
京極家の菩提寺であり、春は京極道舎が愛したと伝わるしだれ桜が見事に咲き誇り、秋には池泉回遊式庭園のモミジが美しく紅葉します。
☎0749-57-0047

長浜城歴史博物館
秀吉が浅井長政攻めの功で領地を拝領し築いた城。江戸時代前期に廃城になり、現在は跡地に歴史博物館が建てられています。
☎0749-63-4611

国友鉄砲ミュージアム
国友地区は鉄砲の伝来ののち早々に鉄砲製作を始めた。館内では国友一貫斎の業績などをマルチメディアやジオラマ、そして実物展示などでわかりやすく紹介しています
☎0749-62-1250